

なでしこ世界一

米国と激闘、PK戦制す

サッカー 女子W杯

▽決勝
日本 2-0-2 米国

延長

1-0

(PK3-1)

▽得点者【日】宮間(後36分) 沢
(延後12分) 【米】モーガン(後
24分) ワンバック(延前14分)

【フランクフルト共同】
日高賢一郎】サッカーの第
6回女子ワールドカップ
(W杯) ドイツ大会は17日
(日本時間18日)、フラン
クフルトで決勝を行い、日
本代表「なでしこジャパン」
は2-1-2の激闘からのPK
戦を3-1で制し、3大会
ぶり3度目の優勝を狙った
米国を破って、初優勝した。
欧米勢以外での初制覇で、
国際サッカー連盟(FIFA
A) 主催大会での日本の優



米国を破り初優勝を果たし、トロフィーを掲げて大喜びの沢(中央)ら日本イレブン。フランクフルト(共同)

勝は男女を通じて史上初め
での快挙となった。

後半24分に先制された日
本は、36分にMF宮間あや
(岡山湯郷)のゴールで追
い付いた。延長前半14分に
再び先行を許したが、同後
半12分に主将のMF沢穂希

(INAC)が同点ゴール
を決め、PK戦に持ち込ん
だ。PK戦ではGK海堀あ
ゆみ(INAC)が2人の
キックを止めた。

沢は大会の最優秀選手に
選出され、通算5ゴールで
大会得点王にもなった。

佐々木則夫監督の話

(PK戦では)意外に冷静
だった。(ここまでくれば十
分だから。本当にびっくり。
ちっちゃな娘たちが粘り強
くやってくれた。

沢穂希の話 信じられな

い。みんな最後まで諦め
ずに戦い抜いた結果。12
0分間、自分を信じて走り
続けた。ずっと世界一を目
標にやってきた。金メダル
を日本に持って帰ります。